

キャリアアップに資する教育訓練（説明用シート）

派遣業務内容	情報処理
派遣業務の具体的内容	ソフトウェアの設計・開発

	入職時～1年目	2年目	3年目	4年目以降
(1)必要とされる共通のキャリアパス（求める人材要件）	社会人としての基本的心構えと行動を身に付ける。 就業先の管理者の指示のもと、業務を遂行できる。	業務に応じて必要な知識、スキルを持っている。 就業先の管理者のもと、独力で業務を遂行できる。 仕様書に基づいて、ソフトウェアの開発や運用を行うことができる。	業務に必要な専門的な知識、スキルを持っている。 就業先を問わず、独力で業務を遂行できる。	高度な知識レベル・判断力が必要な業務の遂行することができる。 部下・後輩とのコミュニケーション能力・リーダーシップを身に付ける。
(2)(1)に必要なスキル、資質等	ビジネスマナー コンピュータ操作の基礎知識	開発能力	設計能力	マネジメント能力
(3)教育訓練内容（上段：様式3号ー2 具体的な教育訓練、中段：上段の内容のわかる事項、下段：訓練計画時間）	① 情報セキュリティ研修 情報セキュリティ事故の事例等も参考にし、脅威を正しく理解する 1時間	① 情報セキュリティ研修 身近に潜むリスクを知り、情報セキュリティ対策を考察する 1時間	① 情報セキュリティ研修 事故発生時の損害賠償などの影響の大きさや、その対策について理解する 1時間	① 情報セキュリティ研修 全階層における情報セキュリティ対策を考察し、周知徹底する術を学ぶ 1時間
	② 新入社員研修 社会人として適切な行動や一般的ルール、コンピュータの基礎を習得する 238時間			
		③ 職能別教育訓練 システム運用とは何か、運用管理の必要性等、それらについての重要性を学習する 8時間	③ 職能別教育訓練 基本的な概念に基づいたプログラムを作成するために必要な知識と作成手法を学習する 8時間	③ 職能別教育訓練 システム運用管理業務の概要を学習 8時間 3時間
				④ 階層別教育訓練 管理監督者として学習・実践することによりチーム全体の活性化を目指す 3時間
(4)期待される教育訓練の効果／到達すべき知識／技量レベル／キャリアアップにつながる理由	より良い人間関係を築くために必要な適切な行動とルールを理解する。 コンピュータで何ができるかを説明できるようになる。 コンピュータの仕組みやデータ処理の方法を説明できるようになる。	簡単なソフトウェアを作成し、自分の能力・実力を認識してもらう。 システム運用は基礎を学び、運用の必要性和重要性を認識する。	ソフトウェアの詳細設計を作成することにより、自分の能力・実力を認識してもらう。 より良いソフトウェアを作成するための設計技術を身に付ける。 システム運用では現場でサーバーやネットワークの運用管理を自己作業で行う。	コミュニケーションスキル習得を習慣付け、スムーズで効果的な他者との関係性を築くことができるようにする。 部下の成長をサポートできるようにする。